【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2002-37541(P2002-37541A)
【公開日】平成14年2月6日(2002.2.6)
【出願番号】特願2000-223434(P2000-223434)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　85/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　13/00　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　1/28　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　5/06　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　7/06　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　31/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　85/00
Ｂ４１Ｊ　13/00
Ｂ６５Ｈ　1/28　３２０Ａ
Ｂ６５Ｈ　5/06　Ｐ
Ｂ６５Ｈ　7/06
Ｂ６５Ｈ　31/00　Ｂ
Ｇ０３Ｇ　15/00　１０６
Ｇ０３Ｇ　15/00　５２６
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５４

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成前のシートを収納する収納手段と、
前記収納手段に収納されているシートに画像を形成する画像形成ユニットと、
前記画像形成ユニットと対向して配置されており、装置本体と共にシートを搬送する第１のシート搬送路を形成する第１のユニットと、前記第１のユニットと共にシートを搬送する第２のシート搬送路を形成する第２のユニットと、を有する搬送ユニットと、
を備え、
前記第１のシート搬送路を通過したシートが、前記第２のシート搬送路を通過して前記第１のシート搬送路における前記画像形成ユニットよりも上流側に搬送されることで、シートの表裏を反転させてシートの両面に画像を形成することが可能に構成されていると共に、前記収納手段へのシートの補給を装置前面側から行うことが可能な画像形成装置において、
前記搬送ユニットが前記装置前面側へスライド移動可能であって、かつ前記第２のユニットが前記第１のユニットに対して相対的に回転可能に構成されており、
前記搬送ユニットが前記装置前面側へスライド移動されることにより、前記第１のシー

ト搬送路が開放され、前記第２のユニットが前記第１のユニットに対して相対的に回転されることにより、前記第２のシート搬送路が開放されるように構成されていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項２】

前記第１シート搬送路と前記第２シート搬送路は、略鉛直に設けられていることを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。

【請求項３】

前記画像形成ユニットは、

前記第１のシート搬送路が開放されることにより形成される空間から、装置本体に対して着脱可能に構成されていることを特徴とする請求項１または２に記載の画像形成装置。

【請求項４】

装置前部であって前記収納手段の上側には前記搬送ユニットがスライド移動可能なスペースが設けられており、前記第１のシート搬送路を通過したシートが前記スペースに排出されることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像形成装置。

【請求項５】

前記第１のシート搬送路を通過した後に排出されたシートを積載するシート積載部材を前記スペースに設けたことを特徴とする請求項４に記載の画像形成装置。

【請求項６】

前記搬送ユニットが前記スペースに対してスライド移動する際の移動路上から、前記シート積載部材が退避可能に構成されていることを特徴とする請求項５に記載の画像形成装置。

【請求項７】

前記シート積載部材が、

装置本体に設けられ、シートの排出方向と平行に設けられた回転中心軸によって回転可能に軸支されていることにより、前記移動路上から退避可能に構成されていることを特徴とする請求項６に記載の画像形成装置。

【請求項８】

前記第１のユニット、前記第２のユニット、または前記画像形成ユニットに異常が生じた時に発せられる信号に基づいて、前記シート積載部材を前記移動路上から退避させる制御手段を設けたことを特徴とする請求項６または７に記載の画像形成装置。

【請求項９】

前記搬送ユニットの上方に原稿を読取る画像読取手段を設けたことを特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明にあっては、画像形成前のシートを収納する収納手段と、前記収納手段に収納されているシートに画像を形成する画像形成ユニットと、前記画像形成ユニットと対向して配置されており、装置本体と共にシートを搬送する第１のシート搬送路を形成する第１のユニットと、前記第１のユニットと共にシートを搬送する第２のシート搬送路を形成する第２のユニットと、を有する搬送ユニットと、を備え、前記第１のシート搬送路を通過したシートが、前記第２のシート搬送路を通過して前記第１のシート搬送路における前記画像形成ユニットよりも上流側に搬送されることで、シートの表裏を反転させてシートの両面に画像を形成することが可能に構成されていると共に、前記収納手段へのシートの補給を装置前面側から行うことが可能な画像形成装置において、前記第１のユニットと前記第２のユニットとが、前記スペースに対して一体にスライド移動

可能であって、かつ前記第２のユニットが前記第１のユニットに対して相対的に回転可能に構成されており、前記搬送ユニットがスライド移動可能であって、かつ前記第２のユニットが前記第１のユニットに対して相対的に回転可能に構成されており、前記搬送ユニットが前記装置前面側へスライド移動されることにより、前記第１のシート搬送路が開放され、前記第２のユニットが前記第１のユニットに対して相対的に回転されることにより、前記第２のシート搬送路が開放されるように構成されていることを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】